

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノ、議決致候此段及報告候也
昭和十八年二月十八日
委員長 八角 三郎

衆議院議長岡田忠彦殿

報告書

一 本船保險法案(政府提出、貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年二月十八日
委員長 八角 三郎

衆議院議長岡田忠彦殿
(八角三郎君登壇)

○八角三郎君 只今議題トナリマシタ郵便年金法中改正法律案外二案ノ委員會ノ審議ノ經過並ニ結果ニ付テ御報告申上ゲマス、本委員會ハ前後四回ニ互リ會議ヲ開キ、其ノ間秘密會ヲ以テ最近ノ海運事情並ニ政府ノ方針等ニ關シ、約一時間ニ互リマシテ、詳細ナル説明ヲ聽取致シマシテ、慎重審議ヲ致シマシタ、此ノ法案ノ提案ノ理由ハ、先日本會議ニ於テ、遞信大臣ヨリ申述ベラレタ通りデアリマスルカラ、其ノ要旨ニ付テ申上ゲマス

先ツ郵便年金法中改正法律案デアリマスルガ、本案ハ現行ノ郵便年金ノ最高制限額二千四百圓ヲ、三千六百圓ニ引上ゲマシテ、長期貯蓄ノ増強ニ資スルト共ニ、郵便年金制度ノ機能ヲ、遺憾ナク發揮セシメントスルモノデアリマス

次ニ航空法中改正法律案ハ、今日ノ航空界ノ實情ニ即應スルヤウ、航空機職員ニ關スル規定ヲ整備致シマシテ、新タニ航空機長、航空通信士、航空機整備士等ノ資格職

責ヲ、明確ニ致シマシタルコト、又飛行場周圍ノ特別地域ノ限界ヲ、現在ノ千メートルヨリ、必要アル場合ニ二千メートルマデ擴張指定シ得ルヤウ改メタルコト、又航空運送營業ノ外ニ航空食糧事業、魚群探見事業等、一般ニ航空機ヲ使用シテ營業事業ヲ、新タニ許可制ノ下ニ置イタルコトノ三點ヲ、改正ノ要旨ト致スモノデアリマス
次ニ本船保險法案ハ、本船ノ建造ヲ促進シ、本船海運ノ振興ヲ圖リマスル爲メ、是ト密接ナル關係ヲ有スル本船保險制度ヲ整備セントスルモノデアリマシテ、本制度ノ概略ヲ申述ベマスレバ、第一ニ經營形態ハ本船主ノ相互保險組合トシ、此ノ組合ニハ公法ノ權限ヲ與ヘ、政府ニ於テ事務費ノ一部ヲ補助シ、免稅ノ特典ヲモ認ムルコトト致シテ居ルノデアリマス、第二ニ保險ノ目的ハ、總「トン」數二十「トン」以上ノ本船ト致シ、差當リ總「トン」數七十「トン」以上ノモノニハ、付保ヲ強制スルコトニシタノデアリマス、第三ニ保險金額ハ保險價格ノ全部トシ、補填範圍ハ、全損、分損、救助費、共同海損及ビ衝突賠償ニマデ及ボスモノデアリマス、尙ホ再保險ニ付キマシテハ、普通保險ハ元受保險金額ノ九割、戰時保險ハ元受保險金額ノ全部ニ付キ、國營再保險ヲ行フコトト致シテ居ルノデアリマス

次ニ各法案ニ對スル質疑ノ主ナルモノニ付テ御紹介申上ゲマス、航空法中改正法律案ノ關係ニ付テ申上ゲマスルガ、質問ノ第一ハ、今日ノ民間航空ノ實情ハ、豫備空軍トシテノ活動狀況ハドウデアルカ、又航空機乗員ノ養成方針ハ、ドウナツテ居ルカトノ質問ガアリマシタガ、之ニ對シ政府ヨリ、現在民間航空ハ、其ノ全力ヲ擧ゲテ軍ノ使

用ニ供シテ居リ、更ニ其ノ運營業ヲ強化スル爲メ、大日本航空會社ノ機構改革モ考ヘテ居ル、航空機乗員ノ養成ニ付テハ、本年度ニ於テ中央養成所二箇所、地方養成所四箇所ノ開設ヲ豫定シテ居ル外、急速養成所施設ヲモ考慮シテ居ルトノ答辯ガアリマシタ、又南方航空路整備ノ方針ハドウデアルカ、是ガ爲ニ一大航空會社ヲ設立スル意向ハナシカ、又大型機ニ依リ緊急物資ノ空中輸送ガ出來ルノデハナシカトノ質問ニ對シマシテハ、南方航空網ノ整備確立ニ付テハ、十分ノ用意ヲ持ツテ居ル、其ノ具體化ハ大日本航空會社ヲシテ當ラシメ、是ガ爲メ將來日航資本金ノ擴充モ考慮中デアル、尙ホ緊急物資ノ空中輸送ニ付テハ、軍ト共ニ其ノ實現ヲ期シテ居ルト云フ答辯ガアリマシタ
次ニ本船保險法案ノ關係ニ付キマシテハ、船舶運營業ノ機構ヲ擴大スル意向ガアルカドウカ、先般行ハレタ運航實務者班ノ設置ハ、企業合同ノ前提デハナシカ、又今後運航實務者ヲ統合スル意向デアルカドウカトノ質問ガアリマシタノニ對シマシテ、政府ヨリ、運營業ノ機構ヲ擴大セシムル意向ハナイ、運航實務者ノ班制度ハ、企業合同トハ關係ナク、又政府ハ業者ヲ強制的ニ集約セシムル意向ハナイガ、業者ノ自主的統合ニ關シテハ援助ヲ惜シマナイ、集約ノ程度ニ關シテハ、運營業者一會社ニシテ、全船舶ヲ運航セシムルヤウナ極端ナル方法ハ、實情ニ即シナイモノト考ヘルトノ答辯ガアリマシタ
次ニ運賃及ビ備船料引上ノ意向ハアルカドウカ、機帆船運賃ノ統制狀況ハドウカト云フ質問ニ對シ、政府ヨリ、汽船ノ公定備船料ハ當分變更シナイ、運賃モ全般的ニハ

低物價政策ニ則リ、當分引上ゲナイ方針デアル、機帆船運賃ハ目下公定ノ準備中デアツテ、差同キ代行停止價格ニ依ルコトトシ、補助金制度ノ運用ニ依リ、實情ニ即スル方途ヲ執ツテ居ルトノ答辯ガアリマシタ
次ニ南方地域ノ海運問題ニ關シ、運營業ノ方針ハドウデアルカ、拿捕船及ビ引揚船ノ狀況ハドウカ、又船員ノ補充ハドウスルカ等ノ質問ニ對シ、政府ヨリ、南方ニ於ケル海運ハ、軍用船ヲ除キ、原則トシテ定期船ハ民間ノ數社ニ、貨物船ハ運營業ニ、地方的ナルモノハ特殊ノ會社ニ擔當セシムル方針デアル、拿捕船及ビ引揚船ノ中、現地ニ必要ナモノハ軍用ニ供シ、其ノ他ノモノハ運營業者運航スル、尙ホ南方ニ於ケル船舶ノ乘組員中、幹部ハ日本人ヲ以テ充テルガ、其ノ他ハ現地人ヲ使用シタイ考ヘデアルトノ答辯ガアリマシタ
尙ホ本造船問題ニ關シ、造船用木材ノ入手方法、造船職工ノ賃金及ビ本造船ノ安全性ニ付テ質問ガアリマシタノニ對シ、政府ヨリ、木材ノ確保ニ關シテハ萬全ノ策ヲ執ツテ居ル、造船工ノ賃金ニ關シテハ、各地域ノ實情ニ即シテ、出來高拂ヒ制度ヲ加味セル適正賃金ヲ定ムル方針デアル、尙ホ本造船ノ安全性ニ付テハ、不安ノ如キハ毫モナク、又海員志願者ノ如キハ各級學校、養成所等ノ如キ皆採用人員ニ對シ十倍以上ノ志願者ガアリ、海國日本ノ眞面目ヲ發揮シテ居ルトノ答辯ガアリマシタ
次ニ港灣衙役問題ニ關シ、港灣行政ノ一元化、荷役力増強方策及ビ港灣勤務者ノ待遇等ニ付テ質問ガアリマシタノニ對シ、政府ヨリ、港灣行政ニ付テハ實質的ニ諸届出手續ノ簡易化、海陸連絡ノ強化等ヲ圖ルト、共ニ、

行政特例ノ準用ヲ研究シテ居ル、港灣荷役ニ付テハ港灣作業會社ヲシテ一定勞務者ヲ確保セシメ、政府ニ於テ常備勞務者ノ賃金ノ半額ヲ補助シ、成績ノ優秀ナルモノニ對シテハ獎勵金ヲ與ヘル外、福利施設ノ改善ヲ食糧ノ確保等ヲ圖ツテ、荷役力ノ増強ニ萬全ヲ期シテ居ルトノ答辯ガアツタノデアリマス、又船員優遇方策ニ付テハ質問ニ對シ、政府ヨリ軍用船ニアラザルモ、軍ノ指示ヲ受ケ運輸スル船舶ノ乗員ニ對シ、乗員ハ軍屬トナシ、軍屬タルト否トニ拘ラズ、船員死亡セル場合ニ於テハ公葬ヲ行フコトトシ、船員援護會ヲ創設シ、船員援護ノ徹底ヲ期スルコト致シテ居ルトノ答辯ガアツタノデアリマス、又小木船造船業者ニ對スル融資ハ、從來圓滑迅速ヲ缺クノ嫌ヒガアル、此ノ點特ニ注意ヲ拂ヘルル用意アリヤトノ問ニ對シ、今後ハ設備擴張資金ハ、戰時金融庫ニ於テナサシメ、又産業設備營團ヲシテ、設備セシムル等ノ方法ヲ講ジ、尙ホ運轉資金ハ戰時金融庫ヲシテ當ラシムル方針デアアル、尙ホ近ク具體的ナ方針ヲ決定シ、關係ノ向ニ通達シ、從來ノ不備ヲ補フ考ヘデアアル、其ノ他運營會、造船補助、航路ニ關スルモノ、設備セントスル造船所等ニ付キ、重要ナル質問ガアリマシタガ、其ノ詳細ハ速記録ニ就キ御覽ヲ願ヒマス

斯クテ質疑ヲ終リ、討論採決ヲ行ヒマシタル所、三案トモ政府原案ノ通り、全會一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、右ヲ以テ御報告ヲ終リマス(拍手)
○議長(岡田忠彦君) 三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○森下國雄君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

郵便年金法中改正法律案

第二讀會(確定議)

航空法中改正法律案 第二讀會(確定議)

木船保險法案 第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセス、第三讀會ヲ省略シテ、三案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○森下國雄君 委員ニ付託シタル議案ノ審查終了ヲ待ツ爲メ、此ノ際暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、暫時休憩致シマス
午後一時三十三分休憩

午後三時十五分開議

○議長(岡田忠彦君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○森下國雄君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、農業團體法案及ビ水産業團體法案ノ兩案ヲ一括シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ——農業團體法案、水産業團體法案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長東郷實君

農業團體法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

水産業團體法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一農業團體法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年二月二十日

委員長 東郷 實

衆議院議長岡田忠彦殿

附帶決議

政府ハ農業團體ノ重大使命ニ鑑ミ速ニ農業關係國策會社等ニ對シ徹底の整理ヲ斷行シ其ノ業務ヲ農業團體ニ移讓セシムベシ

報告書

一水産業團體法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十八年二月二十日

委員長 東郷 實

衆議院議長岡田忠彦殿

附帶決議

本法第九條ノ字句ハ妥當ナラザルノ憾アリ、政府ハ委員會ニ於ケル言明ニ基キ速ニ漁業法第一條ト共ニ適當ノ措置ヲ講ズベシ

(東郷實君登壇)

○東郷實君 只今議題トナリマシタ農業團體法案外一件ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、先ヅ最初ニ法案ノ骨子ニ付キ、其ノ大要ヲ説明申上ゲテ置クコトガ便利カト存ジマスカラ、ソレヲ申上ゲマス
即チ第一ニ、農業團體法案ニ付テ申上ゲマスガ、新農業團體ハ農會、産業組合、畜產組合、養蠶業組合及ビ茶業組合ノ各系統團體ヲ統合整備致シマシテ、戦力増強ノ基礎タル食糧ノ増產確保ニ、全農業者ノ總力ヲ結集シ、其ノ活動ノ最高效率ヲ發揮セシメ、以テ大東亞戰爭ノ完遂ニ、遺憾ナキ體勢ヲ確立スル爲メ、中央農業會及ビ全國農業經濟會ヲ中央ニ、道府縣農業會ヲ道府縣ニ、市町村農業會ヲ市町村ニ、ソレレ、設ケントスルモノデアリマス、而シテ是等系統團體ノ最下部團體タル市町村農業會ハ、農業者及ビ農業ニ密接ナル關係ヲ有スル者等ヲ以テ之ヲ組織シ、農業ニ關スル國策ノ協力機關トシテ、中央農業會ハ指導事業ヲ、全國農業經濟會ハ經濟事業ヲ、道府縣及ビ市町村農業會ハ指導、經濟、金融ノ諸事業ヲ併セ行フコトニ致シタノデアリマス、

隨テ中央農業會ハ經費團體、全國農業經濟會ハ出資團體、道府縣及ビ市町村農業會ハ、經費及ビ出資ノ兩制度ヲ併セ採ル團體トシテアルノデアリマス

次ニ本團體ハ其ノ重大使命ニ鑑ミマシテ、中央團體ノ會長、理事長等ハ主務大臣之ヲ任命シ、其ノ他ノ團體ノ役員ハ大體團體ノ推薦致シマシタモノニ付テ、行政官廳ガ之ヲ任命又ハ認可スルコトニナツテ居リマス、又行政官廳ハ事業等ノ施行、命令、其ノ他團體ノ責務遂行上ニ必要ナル處分等ヲナスノ外、必要アル場合ハ團體ノ構成員以外ノモノニ對シマシテモ、團體ノ行フ農業統制施設ニ對スル服從命令、協力命令等ヲ發動スルコトヲ得ルモノト致シマシテ、團體運營上其ノ創意及ビ能力ノ發揮ヲ全ウセシムルト共ニ、行政官廳ノ指導監督ニ依リ、其ノ適正ナル運營ヲナサシムルニ遺憾ナキヲ期スルト云フコトニナツテ居リマス

尙ホ農業團體ノ統合ニ伴ツテ、既存團體法規ノ改廢ガ行ハレテ居リマスガ、其ノ主ナル點ヲ申上ゲマスレバ、産業組合中央金庫ヲ農林中央金庫ト改メ、新タニ森林組合系統團體ノ加入ノ途ヲ開イタノト、畜産組合合法ヲ馬匹組合法ト改メタ點等デアリマス、以上ガ農業團體法案ノ骨子ノ要點デアリマス

次ニ水産業團體法案ニ付テ御説明申上ゲマス、水産業團體ハ水産會及ビ漁業組合ノ各系統團體、水産物製造業者ノ團體等ヲ統合整備致シマシテ、戰爭遂行上水産業ニ對スル要請ニ應ズルノ體制ヲ整ヘントスルモノデアリマス、即チ中央水産業會ヲ中央ニ、道府縣水産業會ヲ道府縣ニ設立ヲ致シ、道府縣水産業會ハ、漁業會及ビ製造業會ヲ以テ組織スルモノデアリマシテ、漁業會ハ漁業者ヲ

以テ、製造業會ハ水産物ノ製造業者ヲ以テ、之ヲ組織スルモノデアリマス、尙ホ此ノ外ニ新タニ規模ノ相當大ナル漁業等ニ付キマシテハ、原則トシテ道府縣ヲ地區トスル特別漁業會ヲ設立シ得ルノ途ヲ開イテ居リマス、而シテ水産業團體ノ加入關係ハ當然加入ヲ原則ト致スノデアリマス、是等水産業團體ハ、水産業ニ關スル國策ノ協力機關トシテ、指導事業及ビ經濟事業ヲ併セ行ヒ、漁業會ハ指導事業ノミヲ行フ場合モアルノデアリマス、其ノ他水産業團體ノ經理、機關及ビ監督等ニ付キマシテハ、大體農業團體ト同様デアリマスガ、唯漁業會ニ付キマシテハ、經費制度ノモノモノ、之ヲ認メルコトニナツテ居リマス、以上ガ水産業團體法案ノ骨子ノ大要デアリマス

而シテ右兩案ハ、我が國ノ農業界及ビ水産業界ニ取リマシテハ、實ニ劃期的ナ發展ヲ招來スベキ重大法案デアリマスノデ、委員會ハ一月三十日以降二月二十日、即チ本日ニ至ルマデ會議ヲ開クコト實ニ十四回、右兩案ヲ一括議題ト致シマシテ、法案其ノモノニ付テハ勿論、是等ニ關聯致シマシタ國家重要ノ諸問題ニ付キ、委員諸君及ビ政府當局トノ間ニ、極メテ眞剣ニシテ而モ適切ナ質疑應答ガ重ネラレタノデアリマス、但シ詳細ハ之ヲ速記録ニ就テ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、此處ニハ法案ノ審議上特ニ必要ナル點ハレマス事項ノミニ付テ、極メテ簡單ニ御報告申上ゲタイト存ジマス

先ヅ最初ニ農業團體法案關係ノ質疑ニ付テ申上ゲマス、其ノ第一ハ新團體ノ機構ニ關スル點デアリマス、地方ガ一本建ニナツテ居ルノニ、中央ノミガ二本建デアアルノハ、

如何ニモ現狀重視ノ統合案デアアルカノ如キ感ヲ與ヘル、中央ヲ一本建ニセザリシ理由如何、又中央ヲ二本建ニスル以上、道府縣以下ノ團體モ、同様二本建ニシタ方ガ宜イデハナイカトノ質問ニ對シ、政府委員ヨリハ、之ヲ實體的ニ見テ指導、事業、金融ノ三部門ヲ、唯一ツニ引ツ括メテ見タ所デ、其ノ活動ガ果シテ巧ク行クカドウカ頗ル疑問デアツテ、其ノ邊ノ見透シガ十分デナイカラ、寧ろ專門ニ應ジテ之ヲ三ツニ致シタ方ガ宜イデハナイカト考ヘタ結果デアアル、併シ地方ニ於テハ事業ノ分量其ノ他ニ鑑ミ、之ヲ分割スルノ要ナシト考ヘ、之ヲ一本建ニシタトノ答辯ガアリマシタ

第二ハ、新農業團體ト、農事實行組合及ビ養蠶實行組合トノ關係デアリマス、此ノ點ニ付テハ多クノ委員諸君ヨリ熱心ニ、是等ノ實行組合ハ今日農村ニ於ケル第一ノ線ノ實踐部隊トシテ、農業ニ關スル凡ユル仕事ノ擔任實行ノ任ニ當リ、我が國農業政策ノ推進上舉ゲテ來タ功績ハ、極メテ大ナルモノガアルバカリデハナク、將來ト雖モ實行組合ノ活動ハ、益々其ノ必要ヲ痛感スルニモ拘ハラズ、新團體法案ニ於テハ、實行組合ノ加入ヲ認メテ居ナイノハ不都合デヤナイカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ當局ヨリ、實行組合ノ會員ハソレノ新團體ニ加入スルノデアアルカラ、其ノ上更ニ組合トシテモ加入スルコトニナレバ、所謂二重加入ト云フコトニナル、併シ政府トシテハ、二重加入マデシナクモ貯金、貸付其ノ他ノ經濟事業及ビ農事統制ニ關係スル事業ニ付テハ、新農業團體ノ統制ニ服シ、協力致スコトヲ法令ニ依ツテ規定シ、員外利用、員外貸付等モ出來ルコトニシテ居ルカラ、實質的ニハ何等現在ノ活動範圍ト變

リハナイ、故ニ農業會ト實行組合トノ事業上ノ運營連絡ニ付テハ、今後ト雖モ別ニ支障ハナイト考ヘテ居ルトノ説明ガアツタノデアリマス

第三ハ地方農業會ノ會長ノ問題デアリマス、此ノ點ニ關シテモ多クノ委員諸君カラ、地方ノ實情等ニ立脚致シマシテ、眞摯ナル意見ノ開陳ガアリマシタ、即チ會長ノ選任ニ付テハ、市町村農業會ノ會長ノ選任方法ハ、總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ市町村長ノ意見ヲ徵シ、地方長官ガ之ヲ命ズトアルガ、然ラバ市町村制ノ改正ニ依レバ、市町村長ニ各團體ニ對スル指示權ヲ與ヘテアルカラ、其ノ意見ヲ徵スル必要ハナイデハナイカ、又町村制ノ改正ニ依レバ、町村長ノ選任方法ハ町村會デ選舉シ、地方長官ガ認可スルコトニナツテ居ルノニ、本案デハ地方長官ノ任命トナツテ居ルガ、兩者ヲ區別シタ理由如何、又農業團體ガ一ツノ自治的責任團體デアルト云フ意味ニ於キマシテ、之ヲ認可制ニ改メルノガ適當デハナイカトノ質問ニ對シ、當局ヨリ、市町村長ノ指示權ハ團體ノ仕事等ニ付テノ指示デアツテ、別ニ市町村長ニ監督權ガアツテナスモノデハナク、團體長ヲ如何ナルモノニセヨトカ云フヤウナ指示ハ含マレテ居ナイト考ヘル、又本團體ガ生産ヲ確保スル爲メ農業團體トシテ、政府ノ翼贊機關トスル以上ハ、行政官廳ノ任命トスル方ガ實情ニ即スルト考ヘ、道府縣農業會ノ會長ヲ主務大臣ノ任命トシタノデ、ソレニ合ハセ市町村農業會ノ會長ハ、之ヲ地方長官ノ任命トシタノデアアルトノ答辯ガアリ、更ニ本法案ニ於ケル任命ト、町村制ニ於ケル認可トハ、實質的ニハ大ナル差異ハナイト考ヘルトノ言明ガアリマシタ

次ニ町村長ヲシテ農業會長ヲ兼ネシムルノ問題ハ、無論ハ法令ノ上ニハ何等ノ規定ハナイノデアリマス、併シ實際問題ト致シマシテハ、極メテ重要ナル問題デアリマスノデ、委員諸君ヨリ幾度モ質問ガ繰返サレタノデアリマス、今之ヲ要約致シマスレバ、最近町村長ノ仕事ハ煩瑣雜ヲ極メテ居ル、ト同時ニ農業團體長ノ仕事モ亦生産、供給、配給等戰時對應ノ必要ナル事務ガ、最近特ニ多キヲ加ヘテ來テ居ル、然ルニ町村ニ於ケル新農業會ハ、各種ノ團體ヲ統合スルノデアルカラ、其ノ仕事ハ今後一層煩雜多忙ヲ極メルコトニナル、隨テ多忙ナル町村ヲシテ、會長ヲ原則的ニ兼務セシムルノ方針ヲ執ルコトハ、新團體ノ第一線的活動機關タル町村農業會ノ活動ガ、期待ニ反スル結果ヲ來スナキヲ保シ難イ、故ニ町村農業會ノ會長ハ、適任者ヲ得ル限り之ヲ專任トシ、會長自ラ陣頭ニ立ツテ、其ノ職能ヲ完全ニ發揮スルヤウニ指導スル方ガ、適當ナリト信ズルガ、政府ノ御所見如何ト云フコトニナリマス、之ニ對スル農林、内務兩當局ノ意見ヲ綜合致シマスレバ、其ノ人ハ勿論其ノ他諸般ノ事情ニ照シテ、適任者ナリト考ヘラレル場合ニハ、原則的ニ町村長ヲ兼ネシムルヤウ指導スルコト云フコトニナリマス、更ニ然ラバ其ノ適否ノ認定ハ、一體何人ガスルノカ等ノ質問ニ對シマシテハ、其ノ認定ハ結局地方官ガスルガ、其ノ際ハ道府縣農業會ノ會長等ノ意見ヲモ徵シテ選任スルコト云フ建前ヲ適當ト考ヘル、又兼務ノ指導ニ付テハ干涉ニ互ラズ、條理ヲ盡シテ指導ヲナシ、團體長ガ町村長ヲ兼ネルコトモ、一向差支ヘガナイ旨ノ答辯ガアリマシタ、更ニ新團體ノ眞ノ使命ヲ完遂セシ

ムルニハ、町村農業會ノ會長ヲ專心其ノ業ニ當ラシメ、所謂陣頭指揮ノ下ニ努力スルニアラズンバ、此ノ團體ノ眞ノ使命ヲ全ウスルコトニ行カナイノデアルガ、ソレヲヤラシムルモノニハ、ドウシテモ其ノ待遇等ニ付テモ、大イニ考慮ノ必要ガアルと思フガ、政府ハ其ノ點ニ付テ、如何ナル用意ガアルカト云フヤウナ質問ニ對シマシテ、政府ハ御趣旨ニ付テハ同感デアアル、併シ各種團體統合ノ結果、團體ノ經費等モ若干餘裕ノ出來ルコトと思フガ、尙ホソレデモ十分デナイ場合ニ於テハ、政府ニモ助成等ノ途ガアルノデアルカラ、何等カノ考慮モスルト云フヤウナ御答辯ガアリマシタ

第四ハ道府縣農業會ノ支部ノ問題デアリマス、郡ノ團體ハ新團體ガ成立スルト同時ニ解散シ、其ノ權利義務ハ、總テ府縣農業會ニ承繼サレルト言フガ、郡ノ團體デ家畜市場其ノ他ノ財産ヲ持ツテ居ル場合ニハ、其ノ所有ハ府縣ノ團體ニ移ルト思フガ如何トノ質問ニ對シ、當局ヨリ郡ノ團體ノ財産ハ、府縣ノ團體ニ其ノ所有ガ移ル譯デハアルガ、其ノ財産ノ管理及ビ利用ニ付テハ從來ノ狀態ヲ尊重シ、支部ニ於テ之ヲ管理シ、其ノ利用ヲ優先的ニ致スコトヲ認メテ行キタイトノ答辯ガアツタノデアリマス

次ニ支部ノ區域ト、地方事務所ノ區域トノ關係如何トノ質問ニ對シ、農林、内務兩當局ヨリ、支部ノ區域ハ必ズ地方事務所ノ管轄區域ニ合致セシムルヤウナ方針ハ執ラヌ積リデアルトノ答辯ガアリマシタ、支部長ヲ理事トスル理由、及ビ地方事務所長ヲ以テ支部長ヲ兼ネシムル意思ガアルカドウカトノ質問ニ對シマシテハ、當局ヨリ、苟クモ府縣農業會ニ於テ、

郡市區域ニ互ツテ支部ヲ設ケ、ソコニソレゾレノ責任者ヲ設ケル以上ハ、其ノ支部ノ仕事モ重要デアルカラ、其ノ責任者ハヤハリ團體トシテ相當ノ待遇ヲ與ヘル必要ガアラウト考ヘ理事ト致シタノデアリ、尙ホ地方事務所長トノ關係ニ付テハ、農林、内務兩當局ヨリ、兼務セシムルガ如キ方針ハ執ラナイトノ答辯ガアリマシタ

第五ハ新農業團體ト國策會社トノ關係デアリマス、國策會社ノ現狀ニ付キマシテハ、多クノ委員諸君カラ頗ル不滿ノ意思表示ガアリ、是ガ刷新ノ必要ガ強調セラレタノデアリマス、而シテ實際問題ト致シマシテハ、新農業團體ノ重大使命ニ鑑ミ、生産資材及ビ生活必需品等ノ配給竝ニ生産物ノ集荷ハ、原則トシテ一元的ニ新農業團體ヲシテ之ニ當ラシムルコトガ至當デアルトノ主張ニ對シ、農林當局ヨリ生産物ノ集荷竝ニ生産資材ノ配給等ハ、出來ル限り新團體ヲ使フコトガ宜イト思フカラ、其ノヤウニ指導シテ行クコトニシタイ、併シ國策會社ハ統制經濟ノ發展過程ニ於テ必要トセラレタ機關デアリ、生産者、配給業者、消費者ノ各層ニ依リ成立シテ居ルモノデアルカラ、能ク其ノ機能ヲ勘案シテ、具體的實情ニ即シテ善處シタイトノ答辯ガアリマシタ、右ノ外新團體ノ事業ニ關スル問題、養鶏組合、蠶加工組合、園藝組合等ノ如キ任意組合等ノ取扱ニ關スル問題ヲ初メト致シマシテ、委員諸君ヨリ茶業及ビ養蠶業關係ノ諸問題、統合團體ノ範圍、特殊團體ノ措置、系統團體間ノ監査指導ノ問題、團體ノ經理、團體役員ノ給料、待遇ノ問題等法案其ノモノニ付キ、或ハ政治的ニ、或ハ事務的ニ凡ソル角度カラ、極メテ眞摯適切ナ檢討ガ重ネラ

レタノデアリマス、而シテ更ニ之ニ關聯致シマシテ、戦力増強ノ基盤ヲ成スベキ諸問題、即チ米價問題ヲ中心トスル食糧對策ヲ初メ、農産物價格ノ問題、民族確保ノ問題、自作農創設ノ問題、農地價格ノ問題、勞力ノ問題、農民鍊成ノ問題等、廣ク現下ノ重要農政問題ニ付キ、極メテ建設的ナ論議ガ穩カナ言葉ノ裡ニ、熱烈火ノ如キ叫ビヲ藏シナガラ、頗ル活潑ニ展開サレタコトヲ、茲ニ附言致シテ置キマス

次ニ水産業團體法案ニ關シマシテモ、農業團體法案ニ對スルト同様、頗ル適切ナル質疑應答ガ行ハレタノデアリマス、即チ先ヅ第一ニ、本法第九條ニ「漁業トハ營利ノ目的ヲ以テ」云々トアル點ニ付テ、斯クノ如キハ實ニ自由經濟時代ノ遺物ヲ其ノ儘承繼シタモノデアツテ、決戰態勢下ニ於ケル今回ノ漁業者ニ取リテ、其ノ實際ニ副ハザルノ甚ダシキモノデアルガ故ニ、速カニ之ヲ削除スベキデアルトノ要望の質問ガ、多數ノ委員諸君カラ開陳セラレタノデアリマス、之ニ對シテ當局ヨリ、本規定ハ本法ノ漁業ニハ遊魚等ヲ包含セシメナイ趣旨ノ法律上ノ表現デアリ、漁業法トノ關係上、漁業權ニ對スル影響ヲ考慮シテ、漁業法ヲ規定シタル條項ヲ、其ノ僥略襲シタルニ過ギナイノデアツテ、決シテ漁業者ヲ利潤追求スルモノナリトナシタルモノデハナイノデアアルカラ、御趣旨ノ點ニ付テハ成ベク速カナル機會ニ於テ、漁業法ノ改正ト共ニ其ノ實現ヲ圖ルヤウ努メタイ所存デアルトノ言明ガアリマシタ、右ノ外漁業會ノ地區、特別漁業會及ビ製造業會ノ種類、新團體ノ事業、本法案ト水産統制令トノ關係等ニ關スル質疑ガ行ハレタバカリデナク、水産問題

ニ關スル一般的質問ト致シマシテハ、水産物ノ増産對策、及ビ之ニ伴フ各種生産資材ノ供給確保ニ關スル問題、魚類ノ公定價格ニ關スル問題、特ニ大衆向キ魚類價格引上、及ビ公定價格ノ定メナキ魚類ニハ、速カニ公定價格ヲ設定スベシトノ問題等、廣ク生産増強ノ根幹ニ觸レタ極メテ建設的ナ質疑ガ熱心ニ行ハレタノデアリマス、併シ時間等ノ關係ガアリマスノデ、其ノ内容ハ總テ速記録ニ譲リマシテ、茲ニハ全部ヲ省略致シマス

斯クテ本日午後二時二十分最終ノ委員會ヲ開キ、討論ニ入ルニ先ダテ、委員會ノ態度決定上必要ナリト信ズル重要事項數點ニ付キ、委員長ヨリ總括的質問ヲ試ミ、之ニ對シ農林大臣ヨリソレ／＼御答辯ガアリマシタ、即チ委員長ヨリ一、本法案ノ實施ニ當リテハ、從來ノ沿革及ビ地方ノ事情等ヲ參酌シ、特ニ深甚ナル注意ヲ拂ヒ、苟クモ混亂乃至不安等ノ生ゼザルヤウ、萬全ノ方途ヲ講ズルノ要アリト認ムルガ、政府ニ其ノ用意アリヤ如何、二、本法案ノ運営ニ付テハ努メテ是ガ官僚化ヲ防止シ、團體自己ノ責任ト創意トニ依リ、國家奉公ノ使命ヲ全ウセシムルノ要アリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ方針如何、三、市町村長ノ農業團體長兼任ハ、特ニ適任者タル場合ニ限り之ヲ行ヒ、一般的ニ強要スルガ如キ指導ハ、之ヲナサザルヲ適當ト認ムガ、之ニ對スル政府ノ所見如何、四、本法案第四十六條ニ「行政官廳ハ會長ノ行為ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シタルトキ其ノ他農業ノ整備發達上會長ヲ不當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得」ト規定セルガ「農業ノ整備發達上會

長ヲ不當ナリト認ムルトキ」トハ如何ナルコトヲ意味スルヤ、其ノ點ヲ明確ニセラレタシ、五、農事實行組合、養蠶實行組合等ノ團體ヲシテ、市町村農業會ノ會員タラシメ得ルヤウ、適當ノ措置ヲ講ズルコト必要ナリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何、六、厚生福利施設ニ關シテハ、特ニ農業團體ノ活動ヲ遺憾ナカラシムルヤウ、勅令、命令等ノ制定ニ留意セラレンコトヲ希望スルガ、之ニ對スル政府ノ答辯ヲ求ム、七、水産業團體ノ使命タル計畫生産ニ必要ナル資材ノ配給、竝ニ其ノ生産物ノ集荷ハ成ベク新團體ヲシテ一元的ニ行ハシメ、是ト重複セル國策會社等ノ事業ハ、水産業團體ニ移讓セシムルコト必要ナリト認ムルガ、之ニ對スル政府ノ所見如何トノ質問ヲ試ミ、之ニ對シ農林大臣ヨリ、一、農業團體ノ統合ハ戰力増強ノ基礎タル食糧生産増強ヲ主眼トスルモノデアルカラ、本法ノ實施ニ當リテハ徒ラニ畫一ノ弊ニ流レ、却テ生産増強ニ支障ヲ招來スルガ如キコトハ、嚴ニ慎シムベキハ當然デアツテ、十分從來ノ沿革及ビ地方ノ實情ヲ參酌シ、苟クモ混亂等ノ生ゼザルヤウ、實施上適切ナル指導乃至措置ヲ講ズル、二、農業團體ヲシテ眞ニ國策ノ協力機關トシテ活動セシメ、其ノ國家的使命ヲ達成セシムル爲メ、之ニ必要ナル若干ノ監督規定ヲ設ケタノデアルガ、農業生産ノ増強ハ團體自己ノ責任ト創意ニ基キ活動ニ俟ツ所大ナルハ當然ノ次第デアツテ、政府ノ指導監督ノ要諦モ亦其ノ健全ナル發達ヲ圖ルニアタルモノト考ヘラレ、殊ニ事業運営ノ中心意ヲ十分ニ尊重スルヤウ指導致シタイ所存デアル、三市町村長ノ農業團體長兼任ニ付

テハ、市町村長タル人ノミノ條件ニ限ラズ、其ノ他諸般ノ條件ヨリ見テ、適當ナリト考ヘラレル場合ニ於テハ、之ヲ兼ネルヤウ指導スルト共ニ、一面團體長ガ諸般ノ條件ヨリ見テ、市町村長タルニ適當ナル場合ニ付テハ、寧ロ之ヲシテ市町村長ヲ兼ネシムルト云フ風ニ指導致シテ參リ、且ツ是ガ指導ニ付テモ、一般的ニ強要スルガ如キ干涉的態度ハ執ラナイ方針デアアル、四、農業ノ整備發達上會長ヲ不當ナリト認ムルトキニ該當スル事例ト致シマシテハ、例ヘバ一、事業運営上措置ヲ誤リ會員ノ信望ヲ失ヒタル場合、二、總會ノ決議ニ依リ不信任ヲ表明セラレタル場合、三、疾病等ノ爲メ業務遂行上ニ支障ヲ來ス場合、四、其ノ他右ノ事態ニ準ズル場合ニシテ、農業ノ整備發達上著シク在職ヲ不當トスル場合等デアアル、五、農事實行組合、養蠶實行組合ハ、自然發生的ノ團體トシテ存在セシメ、之ヲ維持育成セシムル從來ノ方針ニハ、何等變リハナイノデアツテ、唯之ヲ市町村農業會ノ會員トシナカツタノハ、農業者ガ強制加入ニナツテ居ルノデ、二重加入ヲ避ケル意味デアリ、今後ニ於テハ、員外利用協力命令等ノ方法ニ依ツテ、從來通り部落團體ノ活動ニ支障ナキコトヲ期シテ居ル次第デアアルガ、尙ホ御趣旨ノ次第モアルカラ、十分考究スルコトニ致シタイ、六、現農業團體ニ於テ行ツテ居ル厚生福利施設ハ、引續キ新農業團體ニ於テ之ヲ行ヒ得ルコトハ勿論、將來ニ於テモ其ノ必要性等ニ鑑ミ、農業團體ヲシテニ當ラシメルヲ適當ト認ムルモノニ付テハ、從來通り之ヲシテ行ハシメタキ所存デアツテ、法令ノ制定實施ニ當ツテモ右趣旨ニ依リ措置スル、七、水産業團體ノ使命タル計畫生産ノ達成

ノ爲メ必要ナル事項ニ關シテハ、政府ハ一般ノ施策ヲ講ジテ、是ガ實現ヲ圖ラントスルモノデアツテ、水産業團體ヲシテ資材ノ配給及ビ生産物ノ集荷ヲ一元的ニ行ハシメ、是ト重複スル國策會社等ノ事業ヲ移讓セシムルコトニ關シテハ、能ク其ノ機能ヲ勘案シ、各種ノ資材又ハ生産物ノソレ／＼ノ具體的實情ニ應ジ、適切ナル方策ヲ採リタイ所存デアアルト述ベラレテ、政府ノ意ノ在、所ヲ明確ニセラレタノデアリマス、之ニ對シ委員長ヨリ、本法案ノ生命ハ、要スルニ運営ノ如何ニ係ルノデアルカラ、是ガ運営ニ當リテハ、深キ注意ヲ拂ヒ、其ノ效果ヲ舉ゲル上ニ於テ、萬遺憾ナキヲ期セラレシヤウニ、特ニ此ノ場合改メテ要望致シテ速クト申述べタ次第デアリマス

右終ツテ討論ニ入り、先ツ農業團體法案ヲ議題ト致シマシタ所、成島勇君ヨリ、政府ハ農業團體ノ重大使命ニ鑑ミ、速カニ農業關係國策會社等ニ對シテ徹底的整理ヲ斷行シ、其ノ業務ヲ農業團體ニ移讓スベシトノ附帶決議ヲ附シ、原案賛成ノ意見ノ開陳ガアリ、採決ノ結果原案及ビ附帶決議ハ、何レモ滿場一致ヲ以テ可決セラレマシタ

次イデ水産業團體法案ヲ議題ト致シマシタ所、青山三三君ヨリ、本法案第九條ノ字句ハ、妥當ナラザルノ憾ミアリ、政府ハ委員會ニ於ケル言明ニ基キ、速カニ漁業法第一條ト共ニ、適當ノ措置ヲ講ズベシトノ附帶決議ヲ附シテ、原案賛成ノ意見ノ開陳ガアリマシタ、而シテ是亦採決ノ結果、原案竝ニ附帶決議共ニ、全會一致ヲ以テ可決セラレタノデアリマス

最後ニ私ハ衷心ヨリ右兩案ノ成立ヲ祈念シ、且ツ其ノ運営宜シキヲ得テ、直ニ戰力増強

ノ基礎トシテノ農漁村確立ノ大使命ヲ達成セシムルト共ニ、三千萬農漁民諸君ノ前途ニ光明ヲ與ヘ、以テ農國日本、海國日本ノ威力ヲ、全世界ニ發揚センコトヲ企圖致シマシテ、私ノ御報告ヲ終ルコトニ致シマス（拍手）

○議長（岡田忠彦君） 討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——三宅正一君

（三宅正一君登壇）

○三宅正一君 私ハ本案ニ對シマシテ、委員長ノ報告ニ賛成ノ意思ヲ陳述セントスル者デアリマス、併シナガラ本案ハ委員會審議ノ過程ニ見ラレマシタルガ如ク、各種ノ點ニ於テ委員側ニモ不滿ヲ持ツテ居ルノデアツテ、之ヲ通シマスル所以ハ、此ノ重大ナル時局ニ當ツテ、從來ノ懸案ヲ解決スルト共ニ、少シデモ農漁業團體ヲ強力ニ致シマシテ、決戰體制下ニ於ケル食糧ノ増産、供出ノ促進ニ寄與セシメントスル議員側ノ熱意ガ現ハレテ、之ヲ通過スルニ決シタルデアリマシテ、私ハ本案ノ通過ニ當ツテハ、政府ハ宜シク其ノ點ヲ考慮シ、苟クモ統合ノ爲ニ經過的ニモ能率ヲ低下スル如キコトナク、直チニ決戰體制ニ間ニ合フヤウ、之ヲ措置セラレルコトヲ第一ニ要望シタイト考ヘルノデアリマス、而シテ決戰下ニ於キマスル根本ノ問題ハ、本年ニ於ケル食糧ノ供出ト、而シテ本年ニ於ケル所ノ増産ノ達成ニアルノデアリマシテ、農業者ノ創意ト責任トニ於テ、供出ト増産トニ與セシムルガ如ク、之ヲ運用セシメラレルコトハ、私ハ政府ノ責任デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、私ハ先ヅ供出ノ問題ニ付テ政府ヲ鞭撻シタイト考ヘルノデアリマスガ、供出ノ基礎デアル本年ノ生産米ハ、政府ノ

統計ニ依レバ、六千六百萬石ノ數字ガ現ハレテ居ルノデアリマス、併シナガラ私ノ信ズル所ニ依リマスレバ、六千六百萬石ノ統計ハ過少ニ過ギテ、遙カニモツト大キナ實際ノ生産ガアツタト云フ事實ヲ、私ハ確認シタイト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付テ私ハ數箇ノ實際ノ部落ニ就テ調べ見タルデゴザイマスガ、一例ヲ舉ゲマスルナラバ、信濃川ノ「デルタ」地帯ニ於ケル豐饒ナル農村ノ一例ヲ申上ゲマスルナラバ、二十八戸、三十八町七反歩ノ耕地ノアル一部落ニ於テ、實地調査ニ依リマス、反當實收ハ二石六斗八升八合ニナツテ居ルノニ對シテ、役場ヘノ報告ハ、反當二石三斗七升五合デアリマシテ、一反ニ付キ實ニ三斗一升三合、一俵弱ノ付ケ落シガアルノデアリマス、之ヲ割合ニ付テ見マス、報告ヨリ大略八分ノ増收ニナツテ居ルノデアリマスカラ、六千六百萬石ノ八分ノ實際ノ増收デアルト致シマスルナラバ、五百萬石、即チ本年ノ生産ハ七千七百萬石ノ計畫生産ニ到達シテ居ルモノデアルト云フ事實ノ下ニ、供出ヲ強行スベキデアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、故ニ施策宜シキヲ得マスルナラバ、四千六百萬石ノ會テナキ供出ノ外ニ、私ハ更ニ數百萬石ノ供出ヲ農民ノ協力ノ下ニ實現致シマスルコトハ、不可能デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ少シク實情ニ付テ申述ベマスルナラバ、供出ニ對シマスル政府ノ措置ガ緩慢ニ過ギテ居リマシタ爲ニ、早場地方ニ於テハ九月ノ收穫、而シテ遅イ所モ十一月ノ收穫ヲ過ギテ三箇月、其ノ間ニ於キマシテ、農家カラ横流レテ致シマシタ米ノ量ハ、私ハ相當ナモノデアルト考ヘルノデアリマス、即チ親戚知己ヘノ贈與、

販賣、燒酎、焚キ物、呉服等トノ物々交換、少數デハアリマススケレドモ、惡質ナル闇賣リ、及ビ濁酒ニ潰サレタ米ト云フモノハ、一戸ニ付キマシテ、私ハ最低一俵位ヅツハアルモノトノ計算ヲシナケレバナラナイト思ツテ居ル者デアリマス、而シテ更ニ保有米ヲ（發言スルモノ多シ）保有米ヲ農民ノ赤誠ニ懇ヘマシテ、奮起一番供出セシメマスルナラバ、更ニ數俵ノ私ハ供出ガ不可能デハナイト信ジテ居ルノデアリマス、是等ノ供出餘力ヲ全部供出セシメマスルナラバ、端境期ニ於キマスル所ノ農家ノ飯米ハ、多少ノ不足ヲ來タスコトハ當然デゴザリマスルケレドモ、併シナガラ是ハ農家ヲシテ決戰的増産ニ努力セシメマスル契機トナルノデアリマシテ、麥ハ既ニ蒔付ヲ終ツテ居リマスルケレドモ、是ダケ農家ガ思ヒ切ツテ出シマスナラバ、其ノ増反ハ出來ナクテモ、除草、肥培ニ一層ノ力ヲ盡シ、馬鈴薯ハ四月植付ケテ、六月ノ收穫デアリ、甘藷ハ五六月植エテ、十月ノ收穫デアリマスカラ、自家用保有米ヲウント出シマスナラバ、之ニ對シマス補助食糧トシテ、是等ノ増産ニ農家ハ一層努力スルコトニナルノデアリマシテ、私ハ此ノ供出ヲ督勵致シマスコトハ、其ノ意味ニ於テ増産ニ農家ヲ轉ゼシメマス所ノ、一ツノ大キ效果ガアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ供出ガ不成功ニ歸シマシテ、農家ガ餘分ニ米ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマスナラバ、横流レハ免レナイ、此ノ風ガ農村ニ滲透致シマスナラバ、他ノ物資ニ付テモ闇賣リ、闇買ヒノ風ヲ成シマシテ、農民精神ヲ破壊スル結果ニナルコトヲ、私ハ惧レルノデアリマス

更ニ我が國ノ農業事情ハ、五反百姓ガ實ニ百八十五萬戸デアリマス、此ノ零細農ハ屑米、雜穀、芋等ノ混合ニ依リマシテ、指導宜シキヲ得レバ五六俵ハ出シ得ル階級デア、指導宜シキヲ得ナケレバ食ツテシマフ階級デアリマスコトハ、農村ノ實情ニ付テ明白デアリマス、故ニ私ハ此ノ際ニ是等ノ實體ニ即シマシテ、百八十五萬戸ノ農家ガ喜ンデ之ヲ出シテ——私ハ新潟縣ニ於テ、自分ノ郷里ニ於キマシテハ常ニ農民ニ言ツテ居ルノデアリマスガ、十年前ノ農民ハ糧飯ヲ食ツテ居ツタノデア、此ノ戰爭ノ時代ニ、其ノ愛國心ヲ振起シテ出スコトガ、戰爭ニ勝ツ所以デアルコトヲ説キマス時ニ、早場米ノ供出ガ、或ル村ニ於テ割當ノ二倍半出シタト云フ事實ガアリマスコトヲ考ヘナケレバナラナイト、私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ割當數量ノ強行供出、及ビ餘剩保有米ノ節約供出ハ、國ノ爲メタルニ止マラズ、實ニ農民精神保有ノ爲ニ必要ナノデアリマシテ、農業團體ノ名譽ト、任ニ掛ケテ之ヲ行政セシムルコトガ、團體統合ノ第一ノ狙ヒデナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

然ラバ供出促進ノ方法ハ、ドウヤツタラ宜イカト云フコトガ問題デアリマスガ、第一ハ政府ノ決意デアリマス、單ニ農林省ダケデヤラウト思ツテモ、此ノ大キナ仕事ハ出來ナイ、行政特例ニ於テ五大品目ヲ決メテ、總理大臣ニ一元的ニ權限ヲ集中シテヤルト云フ體制ヲ作ルト云フコトガ、増産ニナルト同ジヤウニ、私ハ米ノ供出、増産ニ付テモ、何ガ故ニ政府ハ、特ニ農林省ハ此ノ重大ナル問題ニ付テ、之ヲ鐵、石炭、アルミニウム、船等ト同ジニ行政特例ニ加ヘテ、

凡ニル増産障礙ノ素因ヲ排除シテ、斷乎トシテ供出モ増産モ、豫定通り執行スルコト云フ氣概ヘヲ示サレナカツタコト云フコトニ付テ、深甚ナル遺憾ノ意ヲ表サザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)私ハ斯クノ如キ政府ノ決意ニシテ定マリマスナラバ、供出ハ農民ノ愛國心ニ憑ヘテ、マダ一、出シ得ルモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス

第二ニハ、農民ニ對スル時局認識ノ徹底デアリマス、戰爭事情ニ致シマシテモ、不敗ノ態勢ニアルトハ固ヨリデアアルガ、外米輸入等ニ頼ルコトガ、如何ニ戦力ノ増強ニ惡イ影響ヲ與ヘルカ、此ノ大事ナ問題ヲ能ク吞込マセマスナラバ、此ノ増産、供出ガ非常ニ多ク行ハレルトコトヲ、期待致シテ居ルノデアリマス、而モ農民ニ付テ申シマスナラバ、彼等ノ子弟ハ徵用工トシテ工場へ行ツテ居ル、彼等ノ親戚ハ都會ニ居ル、此ノ船腹事情ノ窮屈ナ時ニ、農民ガ思ヒ切ツテ出シテ呉レナケレバ、彼等ノ愛スル子等モ亦飢エルノデアルト云フコトヲ、赤誠ヲ以テ懇ヘマス時ニ於テ、私ハ必ズヤ農民ハ思ヒ切ツタ供出ヲナシテ呉レルト云フコトヲ確信スルノデアリマシテ、之ニ協力致スコトガ吾々ノ任務デアルト考ヘ、政府ニ此ノ點ヲ指摘致シタイト考ヘルノデアリマス

第三ニハ、農民ノ不滿ヲ解消スルコトガ供出ノ條件デアリマス、農民ハ彼等ノ供出致シマスモノハ、公定價出シマシテ、サウシテ後金デアリマス、彼等ノ買フ必要品ハ、前金デアリ買ハセラレテ居ルノデアリマス、是ガ農民ヲシテ供出ヲ躊躇ラセ、時局認識ニ疑問ヲ抱カセル所以デアリマシテ、私ハ或ル村ニ於テ、配給ノ「ネル」ハ大巾一尺三十錢、而モ農者ヨリ買ヒマスレバ是ガ六十錢、晒ノ揮ガ、配給デ來マス七十錢、店デ買ヒマスレバ二圓ト云フ實情ヲ懇ヘラレテ居ルノデアリマスガ、彼等ハ斯ウ云フ事情ヲ見マス時ニ暗クナル、私ハ神ヲ畏レ、天ヲ敬ツテ土ヲ耕シマス農民ニダケハ、セメテ闇ヲ教ヘナイヤウニシナケレバ、皇國農村ノ建設ハ不可能デアルト信ズルノデアリマス(拍手)

隨テ今日ニ於テ産業組合ト商業組合トノ繩張論ヲ闘ハスガ如キコトハ、時代遅レデアリマス、私ハ農村ニ關スル限リハ、古イ商業主義ヲ揚棄致シマシテ、農村ニ居ル商業者ハ、十分ナ手當ヲ致シマシテ、之ヲ農業團體ニ吸收致シマシテ、サウシテ公定價出シテ農民ニ物ヲ渡ス、又買フノモノソレデ出ス、而モ武士ガ金ヲ餘リ扱ハナカツタト同ジヤウニ、私ノ理想ヲ以テ致シマスナラバ、農民ハ農業團體ヲ通ジテ販賣モヤリ、買フノモノ農業團體ヲ通ジテ買ヒ、現金勘定ナドニハ懸礙シナイヤウニ致シマスコトガ、本當ノ日本農村ヲ建設スル所以デアルト考ヘルノデアリマシテ(拍手)此ノ點ニ付テ政府ガ勇斷ヲ揮ハナケレバ、私ハ供出ノ熱意ハ出デ來ナイト考ヘルノデアリマス、而シテ更ニ私ガ必要ヲ感ジマスコトハ「リンク」セヨト云フコトデアリマス、農民ニ供出ヲ懇ヘマス時ニ、數年前、昭和十四年ニ千何百万石ノ米ヲ外國カラ持ツテ來マシタ時ニ、百數十萬「トン」ノ船腹ヲ要シタ、若シ諸君ガ本當ニ出シテ呉レルナラバ、日本中デ使フ農業用ノ全部ノ「ゴム」ハ四萬「トン」デ済ムノデアアル、君等ガ本當ニ出シテ呉レバ、鹽ハ外米ヲ輸入スル船ノ百分ノ一デ持ツテ來レルノデアルト云フコトヲ懇ヘテ居ルノデアリマスガ、私ハ供出

ノ玉ノ飛出ル程出サナケレバイケナイ、併シナガラ下手ヲ出シ方ヲサレタ逆效果ニナリマス、既ニ出シテシマツタ正直ナ農民ガ、後カラ遅レテ出ス者ニダケガ供出金ガ貰ヘルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ逆效果デアリマス、私ノ氣持カラ言ヒマスナラバ、私ハ金デ釣ツテ供出ヲサセルト云フガ如キ手ハ、最惡ノ手デアルカラ、成ベクナラバ他ノ手ニ於テヤツテ戴キタイト云フコトヲ、希望セザルヲ得ナイノデアリマス

隨テ今日ニ於テ産業組合ト商業組合トノ繩張論ヲ闘ハスガ如キコトハ、時代遅レデアリマス、私ハ農村ニ關スル限リハ、古イ商業主義ヲ揚棄致シマシテ、農村ニ居ル商業者ハ、十分ナ手當ヲ致シマシテ、之ヲ農業團體ニ吸收致シマシテ、サウシテ公定價出シテ農民ニ物ヲ渡ス、又買フノモノソレデ出ス、而モ武士ガ金ヲ餘リ扱ハナカツタト同ジヤウニ、私ノ理想ヲ以テ致シマスナラバ、農民ハ農業團體ヲ通ジテ販賣モヤリ、買フノモノ農業團體ヲ通ジテ買ヒ、現金勘定ナドニハ懸礙シナイヤウニ致シマスコトガ、本當ノ日本農村ヲ建設スル所以デアルト考ヘルノデアリマシテ(拍手)此ノ點ニ付テ政府ガ勇斷ヲ揮ハナケレバ、私ハ供出ノ熱意ハ出デ來ナイト考ヘルノデアリマス、而シテ更ニ私ガ必要ヲ感ジマスコトハ「リンク」セヨト云フコトデアリマス、農民ニ供出ヲ懇ヘマス時ニ、數年前、昭和十四年ニ千何百万石ノ米ヲ外國カラ持ツテ來マシタ時ニ、百數十萬「トン」ノ船腹ヲ要シタ、若シ諸君ガ本當ニ出シテ呉レルナラバ、日本中デ使フ農業用ノ全部ノ「ゴム」ハ四萬「トン」デ済ムノデアアル、君等ガ本當ニ出シテ呉レバ、鹽ハ外米ヲ輸入スル船ノ百分ノ一デ持ツテ來レルノデアルト云フコトヲ懇ヘテ居ルノデアリマスガ、私ハ供出

ト「リンク」致シマシテ、「リヤカー」ノ「タイ」デアリマスとか、「ゴム」靴デアリマスとか、純綿ノ作業着デアリマスとか、或ハ又鹽デアルトカ、農器具デアルトカ云フガ如キ農業ノ必需物資ヲ供出ト「リンク」セシメテ、喜ビナガラ出ス途ヲ講ゼラレルコトガ、政府トシテモ必要ナコトデアルト云フコトヲ御教ヘ申上ガザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ供出ノ問題ニ付キマシテハ、時期ガ遅レテハイケナイト云フコトデアリマス、遅クモ三月一パイニハ豫定ノ供出ヲ終ラナケレバ時期遅レニナル、四月トナリ、五月トナレバ、補助作物ノ作付ニモ遅レテシマフ、横流レモアル、食ツテシマフ、私ハ眞面目ニ外米ニ依存スルコトナシニ、今年ノ一年ヲ乘越エヨウトスルナラバ、三月一パイニ政府ガ陣頭ニ立タレ、サウシテ凡ニル團體ヲ動員致シマシテ——ソレハ代議士モ御手傳ヲスルガ、或ハ翼賛會、壯年團、軍人會、青年會、ソレダケデナシニ國民學校ノ生徒モ、青年學校ノ生徒モ、警察官モ全部ヲ動員致シマシテ、三月一パイニ米ヲ出サナケレバイケナイ、此ノ事情デアアルカラト云フノデ、農村ヲ米ノ供出ノ興奮ノ増嶋ト化スルガ如キ熱烈ナル運動ニ依ツテ、私ハ豫定ノ供出ヲ百石デモ、千石デモ、五百万石デモ餘計出サセマスルコトガ、農民ノ國ニ對スル御奉公ノ所以デアルト云フ徹底サセマスルコトハ、不可能デナイト信ズルノデアリマス

更ニ私ハ供出問題ニ付テ、政府ノ注意ヲ喚起致シタイコトハ、促進ノ爲ニスル獎勵金ノ支出ノ問題デアリマス、供出獎勵金ヲ政府ガ出サレルト致シマスルナラバ、僅カノ金デハ最早問題ニナラナイ、出スナラ眼

ノ問題ハ此ノ程度ニ致シマシテ、根本ノ問題ハ増産ノ問題デアリマス、増産ノ爲ノ努力、資材、肥料一切ノ不足ヲ致シマスル逆條件下ニ於テ、増産ヲ致シマスルコトハ、非常ナ困難ナ問題デアリマス、是ハ即チ不可能ヲ可能トスル熱烈ナル意思ト、而シテ科學的ナル創意ト、工夫ニ俟タナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、其ノ爲ニハ尙ホ増産ニ對シテ第一ノ問題ハ、政府ノ迫力デアリマス、行政特例ニ加ヘテレナカツタト云フ其ノ緩イ態度ガ、私ハ増産ニ心理的ニモ、實際的ニモ大キナ影響ヲ與ヘルト云フコトヲ感ズルノデアリマシテ、私ハ宜シク五大品目ト同ジニ米ノ問題、農業ノ問題ヲ加ヘラレマシテ、一切ノ増産ヲ阻碍スル問題ヲ揚棄致スガ如ク措置サレルコトヲ、私ハ要望セザルヲ得ナイノデアリマス、而シテ此ノ迫力、熱意ニ加フルニ科學技術ノ動員ヲ必要トスルノデアリマスガ、第一ニハ私ハ技術員ノ指導力強化ガ必要デアルト考ヘルノデアリマス、今日農村ノ指導員、技術員ノ矛盾カラ致シマシテ、指導員、技術員ノ中ニハ彼等ノ良心ヲ殺シテ居ル人々ガ多イノデアリマス、彼等ガ良

ノ玉ノ飛出ル程出サナケレバイケナイ、併シナガラ下手ヲ出シ方ヲサレタ逆效果ニナリマス、既ニ出シテシマツタ正直ナ農民ガ、後カラ遅レテ出ス者ニダケガ供出金ガ貰ヘルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ逆效果デアリマス、私ノ氣持カラ言ヒマスナラバ、私ハ金デ釣ツテ供出ヲサセルト云フガ如キ手ハ、最惡ノ手デアルカラ、成ベクナラバ他ノ手ニ於テヤツテ戴キタイト云フコトヲ、希望セザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ私ハ供出問題ニ付テ、政府ノ注意ヲ喚起致シタイコトハ、促進ノ爲ニスル獎勵金ノ支出ノ問題デアリマス、供出獎勵金ヲ政府ガ出サレルト致シマスルナラバ、僅カノ金デハ最早問題ニナラナイ、出スナラ眼

ノ玉ノ飛出ル程出サナケレバイケナイ、併シナガラ下手ヲ出シ方ヲサレタ逆效果ニナリマス、既ニ出シテシマツタ正直ナ農民ガ、後カラ遅レテ出ス者ニダケガ供出金ガ貰ヘルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ逆效果デアリマス、私ノ氣持カラ言ヒマスナラバ、私ハ金デ釣ツテ供出ヲサセルト云フガ如キ手ハ、最惡ノ手デアルカラ、成ベクナラバ他ノ手ニ於テヤツテ戴キタイト云フコトヲ、希望セザルヲ得ナイノデアリマス

ノ玉ノ飛出ル程出サナケレバイケナイ、併シナガラ下手ヲ出シ方ヲサレタ逆效果ニナリマス、既ニ出シテシマツタ正直ナ農民ガ、後カラ遅レテ出ス者ニダケガ供出金ガ貰ヘルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ逆效果デアリマス、私ノ氣持カラ言ヒマスナラバ、私ハ金デ釣ツテ供出ヲサセルト云フガ如キ手ハ、最惡ノ手デアルカラ、成ベクナラバ他ノ手ニ於テヤツテ戴キタイト云フコトヲ、希望セザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ私ハ供出問題ニ付テ、政府ノ注意ヲ喚起致シタイコトハ、促進ノ爲ニスル獎勵金ノ支出ノ問題デアリマス、供出獎勵金ヲ政府ガ出サレルト致シマスルナラバ、僅カノ金デハ最早問題ニナラナイ、出スナラ眼

ノ玉ノ飛出ル程出サナケレバイケナイ、併シナガラ下手ヲ出シ方ヲサレタ逆效果ニナリマス、既ニ出シテシマツタ正直ナ農民ガ、後カラ遅レテ出ス者ニダケガ供出金ガ貰ヘルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、是ハ逆效果デアリマス、私ノ氣持カラ言ヒマスナラバ、私ハ金デ釣ツテ供出ヲサセルト云フガ如キ手ハ、最惡ノ手デアルカラ、成ベクナラバ他ノ手ニ於テヤツテ戴キタイト云フコトヲ、希望セザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ私ハ供出問題ニ付テ、政府ノ注意ヲ喚起致シタイコトハ、促進ノ爲ニスル獎勵金ノ支出ノ問題デアリマス、供出獎勵金ヲ政府ガ出サレルト致シマスルナラバ、僅カノ金デハ最早問題ニナラナイ、出スナラ眼

心的ニヤレヤウニ働カセルコトガ、私ハ増産ノ第一デアルト信ズルノデアリマス、而シテ努力、資材ノ不足シテ居リマス今日、耕地面積ノ擴大ト云フコトハ急ノ間ニ合ヒマセス、隨テ今日ノ増産ハ耕地面積ノ増大ニアラズシテ、農家ノ半分ニ達セントスル低位收穫農家ノ引上デアリマスガ、所謂低位收穫農家ニハ私ハ二ツノ型ガアルト信ズルノデアリマス、一ツノ型ハ所謂技術管理ノ遅レタ農家型ト云フ型デアアル、モウ一ツノ型ハ職工農家、片手間農家ト言ハレル兼業農家ノ型デアリマス、兼業農家ノ低位收穫引上ハ私ハ中々難カシイト信ズル、是ハ土地制度ノ改革ヲ伴ハナケレバナラナイガ、所謂技術管理ノ遅レタ農家型ノ農家ノ引上ハ、技術者ノ技術的指導ト、サウシテ隣保共助ニ依ル農事實行組合ノ援護ガ、増産ヲ可能ナラシメルモノデアルト信ズルノデアリマス、前掲指摘致シマシタ如ク、耕地開墾ニ依ル増産ハ、今日多クヲ望ムノガ無理デアリマシテ、耕地ニ關スル施策ハ土地改良ト、自作農創定ト、耕地ノ交換分合ノ促進ト三位一體デアリマス、土地改良ノ熱意ハ、耕地ト農民トガ密着シタ自作農ニアラザレバ之ヲ求メ得ズ、努力ノ節約ト農業改善ニ、顯著ナル效果ノアリマス土地改良ノ前提ヲナシマス耕地ノ交換分合モ、亦地主ト小作トガ介在シテ居ツテハ出來ナイノデアツテ、自作農デナケレバヤリニクイノデアリマス、隨テ土地改良モ、耕地ノ交換分合モ、自作農創設ガ私ハ基礎デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ自作農ト小作農トデハ、大體ニ於テ一反ニ付キマシテ、一依位ノ收穫ノ差ガアリマシテ、同じ田圃デモ自作農ガ一反ニ付テ一依餘計獲ルト云フコト

ハ、全國的ニ言ハレテ居ル所デアリマス、隨テ小作農ハ自作農ニ比ベマスレバ、低位收穫農家デアアル、此ノ低位收穫農家ノ數ガ、壓倒的ニ多イト云フ所ニ、日本ノ農業ノ特質ガアルノデアリマス、昭和十五年度ノ統計ニ付テ見マスレバ、三百萬町歩ノ田圃ノ中、百七十六萬町歩ハ小作地デアリ、其ノ戸數ニ至リマシテハ、五百五十萬戸中純小作ガ百四十六萬戸、自小作ハ二百三十三萬戸、計三百八十萬戸（講義ハ止メロト呼ブ者アリ）デアリマシテ、純自作農ハ僅カニ、百七十萬戸ニ過ギナイノデアリマス、此ノ三分ノ二ニ當リマス小作農ガ、他ニ有利ナ仕事ガアリマスレバ、他ニ逃ゲヨウトスル所ニ、我が國農村ノ弱イ點ガアルト考ヘルノデアリマス（ソシナコトハ止メロト呼ブ者アリ）隨テ近時多クナリマシタ土地放棄乃至投ヤリ、荒作リ、斯ウ云フモノハ大體ニ於テ小作地ノ農家デアリマス、之ヲ自作農ニ引上ゲマスコトコソガ、即チ一反ニ付テ一依ツツノ增收ヲ、此ノ困難ナル時期ニ於テ熱意ヲ以テ引上ゲルコトデアリ、百七十六萬町歩ニ付テ言フナラバ實ニ、千七百六十萬依ノ增收ヲ確保スル所以デアルト信ズルノデアリマス、政府ハ、戰勝ノ爲ノ至上命令デアリマスを増産確保ノ爲メ、即時小作農ヲ自作農ニ引上ゲルノ英斷ヲ實行サレルベキデアリマス、我が國ノ自作農創設維持政策ハ、今日マデハ失敗ノ連續デアリマシタ、明治四十四年百七十萬臺デアツタ自作農ハ、昭和十四年ニハ、百六十萬臺ニ轉落シテ居リマス、金額ノ金ト努力ヲサレタニ拘ラズ、今マデハ失敗サレマシタ、併シナガラ今ヤ自作農創設ノ成功スル前提條件ガ整ツタト、私ハ考ヘルノデアリマス、即チ其ノ時分ノ失敗

ハ、大正八年ニ石五十圓ノ米ノ相場ノ時ニ自作農ヲ作ツテ、昭和七年ニハ十七圓ニ米價ハ下ツタノデアリマス、其ノ暴騰暴落ガ自作農ヲ惡クシタノデアリマス、第二ニハ豐凶ノ差ニ依リマシテ、農民ハ動搖ヲ來シタノデアリマス、第三ニハ勞働者デアリマスル農民ハ——勤勞者デアリマス農民ハ、財産ニ依ツテ生キテ居リマセヌカラ、病氣ニ依ツテ轉落スル危險ガアツタノデアリマス、然ルニ米價ハ公定サレマシテ、安定致シマシタ、農業保險ノ劃期的改正ニ依リマシテ、凶作ニ於テモ再生産費ヲ補償シテ戴クコトガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、第三番目ニハ國民健康保險組合ノ普及ニ依リマシテ、病氣ニ對スル此ノ條件ハ無クナツタノデアリマス、私ハ此ノ意味ニ於キマシテ、増産ノ根本策ハ自作農創定ヲ徹底セラレマスルコトガ、即チ増産確保ノ第一ノ所以デアルト考ヘルノデアリマス、農政研究會ガ昭和十七年自作農創設ノ爲ニ要スル農地ノ買収ハ、強制買収ニ依リ得ルモノトスルコトト決議サレタノデアリマス、政府ハ宜シク此ノ自作農創設ノ爲ニ徹底的ナ手段ヲ執ラレマシテ、公定價格ニ依ツテ荷クモ耕作者ガ土地ヲ買ハウトスル場合ニハ、賣レルダケノ手段ヲ執ラレマスルコトガ、増産ノ私ハ絕對ノ要件デアルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、時間ガ參リマシタカラ切上ゲタイト思ヒマスガ、茲ニ初メテ我が國ノ農村ガ、土地ガ投機ノ對象ニナラズニ、自作農デ占メラレマシタ時ニ、我が國ノ農村ハ、初メテ國本農家ニ私ハ生レ變ルト信ズルノデアリマス、而モ人口ノ生産力ニ付テモ、五反未滿ノ百姓ハ、統計ニ依リマスレバ出生率ガ四人半、二町以上ノ耕作者

ハ六人三分、三町歩以上ノ農家ニアリマシテハ、七人二分トナツテ居ル、私ハ七人二分ト云フガ如キ高イ生産力ヲ持チマスル農家ヲ造成致シマスルコトガ、即チ是コソ安定農家創設ノ基本デアルト信ズルノデアリマス、努力不足ニ對シマシテハ、黑澤君其ノ他ガ主張サレマスル如ク、人間ノ手ニ對シテ十人前ノ努力ヲ發揮致シマスル牛馬ノ耕作力ヲ利用致シマスコトガ必要デアリ、更ニ私ハ今一點努力對策トシテ申上ゲテ置キタイコトハ、今ヤ努力ノ不足ノ爲ニ、三番草ヲ取りマスル田圃ヲ、一番草デ止メル者ガ相當アリ、二番草デ止メル者ハ更ニ多イノデアリマス、隨テ私ハ一番草デ止メマスルナラバ二俵違フ、二番草デ止メルナラバ一俵違フ、學生デアリマスツカ、産業労働者デアリマスツカ、都市ニ於ケル農業ノ前驅者ヲ動員致シマシテ、サウシテ之ヲ農繁期ノ手傳ニ出サレルガ如キコトモ、今日ヤツテ居ラレマスルケレドモ、一層眞面目ニ私ハヤラレルコトヲ希望スルノデアリマス

以上要スルニ吾々ハ此ノ重大ナ時期ニ於テ、政府ガ其ノ積リニナツテ起タレマスルナラバ、又農業團體モ其ノ赤誠ヲ承ケテ起チマスルナラバ、供出ニ於キマシテモ、増産ニ於キマシテモ、工夫ト努力ト、火達磨ノ如キ決意ヲ以テスルナラバ、不可能デナイコトヲ確信スルノデアリマス、又率直ニ申上グルナラバ、農林省ノ態度ガ私ハ微温的デアルト考ヘル、其ノ方向ハ宜シクモ、モット思切ツタル自作農政策、努力政策、一切ノ政策ヲ徹底セラレマシテ、農業團體統合ノ趣旨ニ合フヤウニ御努力下サイマスコトヲ御願ヒ致シマシテ、私ノ贊成演説ト致ス次第デアリマス（拍手）

○議長(岡田忠彦君) 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○森下國雄君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

農業團體法案

水産業團體法案

第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

森下國雄君

議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出シマス、即チ此ノ際政府提出、昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ……昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ノ第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長矢野庄太郎君

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年二月二十日

委員長 矢野庄太郎

衆議院議長岡田忠彦殿

〔矢野庄太郎君登壇〕

○矢野庄太郎君 只今議題ニナリマシタ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告ヲ申上げマス、今改正案ノ條文ヲ朗讀致シマス「昭和十二年法律第八十四號中左ノ通改正ス、第一項ヲ左ノ如ク改ム、大東亞戰爭ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲必要アルトキハ政府ハ臨時軍事費特別會計ニ於ケル歳出豫算額ヨリ當該特別會計ニ於ケル他會計ヨリノ受入金其ノ他ノ普通歳入ノ豫定額ヲ控除シタル額ニ相當スル金額ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得、附則ハ略シマス、只今讀上ガマシタ通りノ法律案デアリマシテ、此ノ法律案ニハ公債發行又ハ借入金ノ金額ヲ明示シテナイノデアリマス、然ラバ金額ノ明示ガナイトスルナラバ、其ノ發行限度ニ付テハ政府ハ白

由ニ之ヲ裁量スルコトガ出來ルカト申シマスルト、左様デハナイノデアリマシテ、此ノ條文ニ只今讀上ガマシタル通り、普通歳入、例ヘバ軍事獻納金、一般會計ヨリノ繰入金、朝鮮、臺灣、通信、鐵道等ノ特別會計ヨリノ繰入金、雜收入ナドノ、其ノ普通歳入デ歳出豫算ヲ賄フコトノ出來ナイ部分ニ限ツテ公債ヲ發行シ、又ハ借入金ヲナスコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、詰リ豫算書ニ依リマシテ政府ノ發行シ得ル公債ノ金額、借入ヲナスコトノ出來ル金額ヲ算定シナケレバ分ラナイト云フコトニナツテ居ルノガ此ノ法律案ノ内容デアリマス、抑、昭和十二年法律第八十四號ハ、第一次近衛内閣ノ時ニ於テ、現賀屋大藏大臣ガ時ノ大藏大臣デアリマシタ際ニ、此ノ法律ガ成立致シタノデアリマシテ、最初成立致シマシタ法律ニハ、公債又ハ借入金ノ金額ノ限度ヲ定メテ居リマシテ、僅カ二十億餘圓トナツテ居ツタノデゴザイマスガ、其ノ後軍事費ノ成立ニ伴ヒ、數回ニ互ツテ改正サレマシテ、現在ノ法律ニ於テハ二百九十四億餘圓ヲ限ツテ公債ヲ發行シ、又ハ借入金ヲナスコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、最初ノ二十億餘圓ガ三百九十四億餘圓ニ増加サレテ居ルノデアリマスガ故ニ、若シ先例ヲ踏襲シテ此ノ改正案ヲ提出サルナラバ、凡ソ六百億圓近クノ金額トシテ協賛ヲ求メテ來ナケレバナナイ筈デアリマスルガ、只今申ス通りニ、此ノ法律案ニハ抽象的ノ標準ヲ定メテ、其ノ金額ガ幾許ナリヤハ、豫算明細書ニ依ツテ算定シナケレバナナイコトニナツテ居リマスノデ、先例ヲ變更シタト云フ點ニ於テ、委員會ニ於テハ屢、質

疑應答ガ交サレマシテ、二回ニ互リ懇談會ヲ開キマシテ、大藏大臣ノ出席ヲ求メテ、何故ニ先例變更ノ必要ガアルノカト云フコトヲ質問應答致シタノデアリマス、其ノ詳細ハ茲ニ省略致シマシテ、速記録ニ譲リマスガ、斯様ニ質疑應答ガアリマシタ後、昨日質問ヲ打切りマシテ、本日午後一時更ニ會議ヲ開キマシテ、討論ニ入ラントスル際、政府ヨリ發言ヲ求メラレマシタ、政府委員タル谷口大藏次官カラ發言ヲ求メラレマシテ、政府ヲ代表シテノ辯明デアルトノコトデアリマス、即チ速記録ノ儘之ヲ讀上ゲマス、「昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付キマシテハ過日來本委員會ニ於テ種々御熱心ナル御質問モ是レアリ、ソレモ御答辯申上ゲタ次第デアリマス、御質問中ニ盛ラレタ御意見ノ存スル廉ハ了承致シマシタ、仰セ御尤モノ次第ト存ジマスガ、政府ト致シマシテハ本改正案ニ付キ何等他意アル譯デハナク現時ノ大戰下内外諸般ノ事情ヲ考慮致シマシテ、此ノ際トシテハ已ムヲ得ザルノ措置ト認メ原案ノ通りト致シタ次第デアリマスルカラ、何卒宜シク御諒承ノ上御賛成アラントヲ御願ヒ致シマス、尙ホ一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲メ發行スル歳入補填公債ニ付キマシテハ」是ハ既ニ此ノ議場ニ於テ可決セラレマシタ例ノ三十一億六千八百三十萬圓ノコトヲ言フノデアリマス、今後ト雖モ先例ニ依リ其ノ金額ヲ明示シテ御協賛ヲ求メルコトト致シタイト考ヘテ居リマス、一言附加ヘテ置キマス」斯様ニ言明ガアリマシタル後、討論ニ入り、滿場一致政府原案賛成ニ決シマシタ次第デアリマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○森下國雄君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(大東亞戰爭ニ關スル臨時軍費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)

第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○森下國雄君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、兵役法中改正法律案、共通法中改正法律案、明治三十八年法律第三十八號改正法律案陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案ノ四案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ案議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ——兵役法中改正法律案、共通法中改正法律案、明治三十八年法律第三十八號改正法律案、陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案、右四案ヲ一括シテ第一讀會ノ議題トナシマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長猪野毛利榮君

兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

共通法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

明治三十八年法律第三十八號改正法律案(俘虜處罰ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一兵役法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年二月二十日

委員長 猪野毛利榮

報告書

一明治三十八年法律第三十八號改正法律案(俘虜處罰ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年二月二十日

委員長 猪野毛利榮

報告書

一陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十八年二月二十日

委員長 猪野毛利榮

報告書

一兵役法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、本法案ハ御存ジノ通り、大東亞戰爭勃發ヲ契機ト致シマシテ、朝鮮同胞銃後奉公ノ熱誠ハ、頓ニ昂揚セラレタルニ鑑ミ、是等同胞多年ノ要望ニ應ヘル爲メ、又一面國防ノ完璧ヲ期スル爲メ、朝鮮同胞ヲシテ内地同様兵役ニ就カシムル爲

ニ御報告申上ゲマス

先ヅ兵役法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、本法案ハ御存ジノ通り、大東亞戰爭勃發ヲ契機ト致シマシテ、朝鮮同胞銃後奉公ノ熱誠ハ、頓ニ昂揚セラレタルニ鑑ミ、是等同胞多年ノ要望ニ應ヘル爲メ、又一面國防ノ完璧ヲ期スル爲メ、朝鮮同胞ヲシテ内地同様兵役ニ就カシムル爲

ノ現法ノ改正デアリマス

次ニ共通法中改正法律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、本案ハ前案ノ改正ニ伴ウテ改正ヲナスノ法案デアリマス、茲ニ質疑應答ノ主ナルモノヲ御紹介申上ゲタイト存ジマスルガ、時間モ切迫致シテ居リマスルカラ、

委細ハ速記録ヲ御覽ヲ願フコトニ致シテ、極ク簡單ニ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス

一、國語ヲ解セザルモ徵集スルヤ、若シ徵集スルトセバ、統帥指揮ノ上ニ支障ナキヤ

二、朝鮮同胞ニ對スル戸籍ハ完備セルヤ

三、朝鮮特別志願兵制度ハ將來存続スルノ考ヘナリヤ

四、海軍ニモ徵集スルノ考ヘナリヤ

五、臺灣ニ對シテ施行スルノ意思アリヤ之ニ對シテ、

一、國語ヲ解セザル者ニハ國語教育ヲ施ス考ヘナルヲ以テ、統帥指揮上何等支障ナシト思フ

二、戸籍ニ付テハ昭和十九年施行ニ十分間ニ合フ考ヘナリ

三、特別志願兵制度ハ廢止スルモ現役兵志願制度ハ内地同様ニスル方針ナリ

四、海軍ノ徵集ニ付テハ直チニ徵集セザルモ、將來ハ徵集スルコトヲ考慮シテ居ル

五、臺灣ニ付テハ本年度實施セル特別志願兵制度ノ成績ヲ見テ、將來採用スル方針ナリ

以上ノ意味ノ答辯ガアリマシタ、尙ホ此ノ外ニ朝鮮同胞ト、内地人トノ結婚問題、在滿鮮人ノ教育問題並ニ思想問題ニ付テ質疑ガアリマシタガ、之ニ對シソレレ政府委員ヨリ答辯ガアリマシタ

次ニ明治三十八年法律第三十八號改正法

律案ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、本法案ハ即チ俘虜處罰ニ關スル法律案デアリマス、現行法ハ舊刑罰體系ノ下ニ制定セラレタルモノデアリマシテ、罰目、刑名、刑期ナドノ全般ニ互リマシテ適當ナラザルモノガアリ、況ヤ大東亞戰爭勃發ニ伴ヘル三十餘万ノ捕虜ノ現狀ニ鑑ミ、現法上ニ整理新設ヲ致シ、以テ該法ノ恩威並ビ行ヘル、即チ我が武士道の精神ヲ法ノ上ニ十二分ニ發露致サレタルモノデアリマス

陸軍軍法會議及海軍軍法會議法中改正法律案ニ付テ、是ヨリ御説明ヲ申上ゲマス、此ノ法案ハ、録事中優秀ナルモノヲ奏任トナシ得ル法案デアリマス、之ニ對シ、一、陸軍法務官ハ軍人ナルニ拘ラズ、録事ガ文官タルノ理由如何、二、軍法會議法ニ於テハ豫審ヲ先ニシ、公訴提起ガ後ニナツテ居リマシテ、種々ノ不便ノ點ガアル、寧ロ公訴提起ヲ先ニシテ、豫審ヲ後ニスルノ考ヘナキヤトノ質問ニ對シマシテ、政府ヨリハ、一、困難ナル事情アリ、早急ニ實現ハ難カシキモ、能ク考究スベシ、二、軍ニハ軍特別ノ事情アリ、現行法ヲ宜シト考フトノ答辯ガアリマシタ、斯クテ質疑應答ハ終了致シ、本日委員中井川浩君竝ニ委員堀内一雄君ヨリ、ソレム原案賛成ノ御演説ガアリ、採決ノ結果全員一致原案賛成ノ意ヲ表シ、茲ニ委員會ハ四案トモ原案通り可決致サレマシタ、尙ホ只今御報告申上ゲタルモ頗ル隔靴搔痒ノ感ガアルト存ジマスルガ、是ハ祕密會ノ内容ニ屬スル部分モ相當アリマシテ、遺憾ナガラ此ノ席デハ公表致シ兼ねマス爲デアリマス、此ノ點ハ何卒御諒承ヲ願ヒ、右ヲ以テ委員長ノ報告ト致シマス、何卒滿場一致御賛成アラントヲ希望致シマス(拍手)

○議長(岡田忠彦君) 四案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ四案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○森下國雄君 直チニ四案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(岡田忠彦君) 森下君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡田忠彦君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ四案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

兵役法中改正法律案 第二讀會(確定議)
共通法中改正法律案 第二讀會(確定議)
明治三十八年法律第三十八號改正法律案(俘虜處罰ニ關スル件) 第二讀會(確定議)

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○議長(岡田忠彦君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、四案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)
次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後四時四十五分散會

衆議院議事速記録第十號中正誤

頁 段	行	誤	正
二四〇	四二六	債券	債權

衆議院議事速記録第十二號中正誤

頁 段	行	誤	正
三五九	二一三	一月二十六日	一月三十日